

ナイス福岡 会報

自然感

くすのき

2022年3月
第 320 号



●ちょっとした草むらや道端に、小さな草花が顔を出し始めますと、『春だー！』と思います。

一緒に小さな虫たちも現れ、色んなものが動き始める感じがします。

*昆虫の名前の漢字表記は“間違っていたらごめんなさい”です。 aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号
田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160
URL : <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会 (126回)

日時：3月19日(土) 10時から12時

の予定です。現在、公園の利用が可能です。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160【田村の携帯】

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

3月20日（日）4月17日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

3月27日（日）4月24日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時間：9:00～12:00
集合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

4月3日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：9:00～12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

4月9日（土）
大濠公園（福岡市）
時間：9:00～12:00
集合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）

4月10日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

4月5日（火）
県営春日公園（春日市）
時間：10:00～12:00
集合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

3月27日（日）
久留米城址～筑後川
時間：9:00～12:00
集合：久留米城址篠山神社前
問合せ：090-4357-3043（溝田）
参加費：会員100円 一般200円
高校生100円
（中学生以下無料）

久留米の自然を守る会

お問い合わせください
問合せ：080-6425-1635（河内）

福岡植物友の会

3月20日（日）糸島宮地岳
お問い合わせください
問合せ：佃 昇（092-662-2983）



シロボウエンゴサケの霜 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

4月2日（土）
集合：九州歴史資料館駐車場
時間：9:30～12:00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人200円
コロナ対策：ブログにて確認
ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きもの情報を載せて
います



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

和白干潟を守る会

3月26日（土）
総会
時間：12:00～14:00
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3月26（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



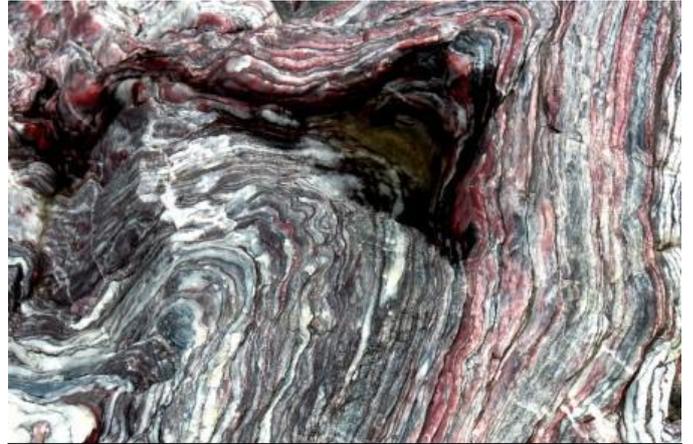
落としたり？ 吐き出した？ 誰？
マンジョウの実 三国・松永

2022年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、2月1日(旧暦1月1日)~2月28日(旧暦1月28日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



2月4日(旧暦1月4日) 筑紫野市天拝坂
真冬でも枯葉を身にまとうコナラである。枯凋性(こちょうせい)といい、先祖が常緑であった名残とか。葉を落とさない有利性もきっとあるのだろう。風にかサカサなった。



2月7日(旧暦1月7日) 久留米市百年公園
植木市の庭石の中に四国紅簾石があった。褶曲した層に緑や血色が見える。赤い部分はマンガンなど含むらしい。プラタモリで秩父長瀬の甌穴にこの岩があったような・



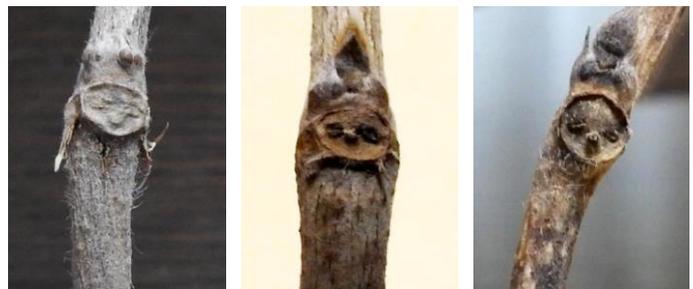
2月10日(旧暦1月10日)福岡市東区筥崎八幡宮花庭園
去年は、久住長湯の靱山八幡で2/25にフクジュソウを観たが、今年は遠出が出来そうにないので、ここでの出会いとなった。キンポウゲの仲間なので毒草だけど鮮やか。



2月18日(旧暦1月18日) 筑紫野市天拝坂
翌朝、庭のミカンに、二羽のメジロがやって来た。しばらくして、二羽のスズメもやって来たが、遠巻きにして見ていただけで、やがて消えた。



2月22日(旧暦1月22日) 大野城市大佐野
大佐野川の澄んだ水の上に油膜のようなものが張っていた。そこに小石を投げたら、皮膜は割れて、穴があった。水底にはさび色の泥が見える。油ではなく、鉄バクテリアが作った薄い酸化被膜のようだ。このバクテリアも沈殿物も人畜無害だそうだ。



2月26日(旧暦1月26日)
朝倉市矢野竹・寺内ダム
道端の刈り取られた一本のクズ(葛)のツルの中に、実に沢山の顔が見えた。クズの葉痕である。目鼻に見えるところは、維管束痕で、3個あるようだ。葉痕のすぐ上が冬芽。

くすのき 2022年3月号投稿原稿-本のむし

Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

会員からの投稿(1) 菜の花の番人



福津市内の湖畔エリアにある菜の花にたくさんの番人が現れました^^
菜の花を囲むようにたくさんのカカシ！
古墳と菜の花とカカシまで楽しめそうです！
2月19日 撮影

会員からの投稿(2)

アサギマダラ情報です
キジョランを見るたび、探しています。先月(2/21)
の能古島散策時に幼虫を見かけました。
羽化に出会いたいものです。
別の場所では、キジョランの花を見かけました。
田字草



会員からの投稿(3)

2/28に海の中道海浜公園の博多湾側の砂浜で、カブトガニの
亡骸を見かけました。写真右下の人の足跡と比較しても大きいか
なと思いました。

昨年の秋、瑞梅寺川河口の寄り洲で、ゴミを回収していた折に
も、もう少し大きな殻を見かけました。

博多湾は、カブトガニにとって住みよい生息環境なのでしょう
か。

福岡市は、西区の瑞梅寺川河口でカブトガニの産卵調査や幼生
の数を調査しています。その速報値によると、四所神社地先では
産卵箇所数、幼生数、ともに増加傾向のようです。

自然の砂浜が少なくなった博多湾、カブトガニの産卵とその幼
生が育つ環境が維持されているといいのですが。田字草



撮影：2022年2/28

春日公園自然観察会 令和4年02月19日(土)【参加者数】4人【担当】、田村耕作

参加者：荒牧源実・田村耕作 一般：佐竹・築添恭子

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。

観察内容 雨の中、種を中心に冬芽、早春の花等を観察。おまけに水滴の観察。

植物 ヒイラギナンテン(花) イスノキと虫こぶ、ウバメガシ、モッコク、カツラ、アキノレ、サンシュユ(蕾)、ノシラン(実)、ユズリハ、アセビ(花) トウカエデ、サルスベリ(種)、ウメ、ハクサンボク(新芽)、サンゴジュ(新芽)、タ
イワンフウ(種)、モミジバフウ(種)、

野鳥 マガモ、メジロ、キジバト、スズメ、ハクセキレイ、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ツグミ、シロハラ、ジョウ
ビタキ、アトリ、カワラヒワ、アオサギ、コサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、

感想(参加者の声)

- ・ヒイラギナンテンの花を観察した体験が印象に残った。
- ・ユズリハとヒメユズリハの比較ができた。
- ・芝生広場・調整池にムクドリの群れ、ツグミの群れ、シロハラの群れをじっくり観察したことが印象に残った。
- ・樹幹流を初めて観察できた。馬酔木の花(桃色、白色)印象に残った。

観察会風景

樹幹流が始まった

ヒマラヤスギの水滴



サンゴジュの新芽

レンギョウの花

サンシュユの蕾



馬酔木の花

ノシランの実

ミモザの蕾に水滴



アキノレにアトリの群れ

池で見かけたコサギ

しばらく嘴を開いていた。



会員からの投稿(4)

SDGs の 17 の目標 (その 13)

SDGs (持続可能な開発目標) の 17 の目標を少しずつ取り上げています。

今月は「働きがいも経済成長も (Decent Work and Economic Growth)」です。

英文にある “decent” は「ちゃんとした」とか「身なり正しい」といった意味なので、持続的な経済成長をしつつ「みんなにちゃんとした仕事を」とうたった目標ですね。途上国の経済成長や同一労働同一賃金の達成、若者の就労や職業訓練、強制労働や児童労働の根絶、持続可能な観光の促進などを含んでいます。



私たちの自然観察の分野にひきつくと、仕事としての自然体験やインタープリテーションを思いだします。公園などで指定管理制度が広まった背景もあり、2000 年代以降はビジターセンターや体験施設などで勤務する人が増えたのではないのでしょうか？

もちろんボランティアや趣味として自然をお伝えしていくことも大切ですが、仕事として関わる人が増えるのも喜ばしいですね。安心できる「ちゃんとした仕事」として自然体験やインタープリテーションがより広まって、社会的にも認知されるようにしていけたらと思っています。(写真はイメージです) 志賀壮史

◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は 6 月から翌年 5 月末までです。会員の皆様、2021 年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 [01760-9-15783](tel:01760-9-15783)

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、令和 4 年 4 月 8 日 (金) 午後 2 時より事務局で行います。令和 4 年 4 月号の原稿は、4/5 (火) までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2022 年 2 月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業した。

毎月のはじめに、自宅を出発し、近くの墓地、公園、住宅地に残された斜面の小さな林、川沿い、神社を巡る散策を継続している。同じような頃に、同じ様な場所で同じ生きものに出会うと、どういうわけか、ほっとする。

写真の在来種のタンポポ、この時期に歩道の脇、毎年同じ場所で見かけます。時間の流れの中で、変わらず同じような風景に出会えるのは大切のような気持ちになります。



撮影: 2022. 3/5 城南区田島の路上にて